

令和 7 年度事業計画書

公益財団法人徳川黎明会

基本方針

当財団は、本年度も引き続き、これまで蓄積してきた豊富な実績を基盤に、美術・史学の調査・研究等に一層の研鑽を重ね、その成果について、教育・普及活動等を通じて、広く社会に提供・貢献する。また、尾張徳川家伝来の美術工芸品・歴史資料、保有する貴重な国内外の美術品・資料等について、展示・研究発表等を通じて、社会に公開し、文化・芸術の振興に努める方針である。

1. 本部・総務部

数年度に亘る新型コロナウイルス感染拡大により多大な影響を受けた後、ようやく経済・社会活動も平常化に向かう中、本部・総務部としては、令和7年度も引き続き各種業務の効率化に努め、各事業所を統括・支援するとともに、法人全体の円滑な事業活動を推進することとする。

2. 徳川美術館

徳川美術館は、令和7年度（2025年度）に開館90周年を迎える。この節目の機に当たり、美術館の事業計画としては記念事業としての大型の展覧会や記念イベント、コラボ企画等を実施することにより美術館の魅力を更に広く発信し、来館者数の増加とともに運営基盤の強化・安定化を目指すこととする。こうした観点をふまえ来館者数の目標は、25万人とした。展覧会計画については、令和7年度は名古屋で10年ぶりとなる「国宝 源氏物語絵巻」の全巻公開の年とも重なることから、11月～12月にその特別展を開催予定であり、4～6月には特別展として「国宝 初音の調度」70件の全点公開も予定している。更に人気のオンラインゲームとのコラボレーション企画を含むロングランの夏季特別展「時をかける名刀」（6月～9月）を開催予定である。また秋季特別展「尾張徳川家 名品のすべて」（9月～11月）では、同じく開設90周年を迎える蓬左文庫の所蔵品をあわせ、尾張家伝来の名品の数々を紹介することとしている。なお令和2年度に認定された文化観光拠点施設としては、令和6年度までに国庫補助金による支援期間は終了したところ、この間に取得した経験や資源を活かしながら、文化観光施設としての一層の磨き上げを自らの手で継続的に推進することとしている。また収益事業においては、周年事業による来館者数の増加とともに、物販事業・飲食事業の充実を図ることとしている。

3. 徳川林政史研究所

徳川林政史研究所は、令和5年度に開設100周年を迎え、記念事業として徳川美術館・蓬左文庫と連携しつつ、特別展「将軍と尾張徳川家一政と儀式」、及び企画展「尾張藩と木曾山―徳川義親のまなざし―」を開催したところである。こうした成果をもふまえ、研究所は令和7年度も所蔵史料の整理・公開を進めながら尾張藩・林政史研究を推進していくこととしている。尾張藩研究に関しては、更に尾張家臣団史料を収集・分析し、その成果を11月～12月に徳川美術館・蓬左文庫で開催する企画展「尾張家臣団」で公表する予定である。また併せて尾張家当主の事蹟をまとめた「事蹟録」のデータベース化作業を継続する。林政史研究については、内木家所蔵史料調査の成果として、尾張藩林政史の実態を解説したブックレットと内木家文書の史料集を編集・刊行することとしている。教育・普及活動においては、豊島区や徳川美術館と連携した講座を予定しているが、他機関からの出講依頼にも積極的に対応していくこととし、講座開催に当たっては若手研究者を講師に据えるなど、若手育成とも関連づけて活動を進めていく計画である。

各事業拠点における実施事業詳細については次葉以降に記載の通りである。

I. 公益目的事業

[公益事業 1] 美術館の運営事業（徳川美術館）

1. 美術品の展示・公開・修理・保存・収集

(1) 展示・公開

① 名品コレクション展（第1～5展示室）

所蔵品中の名品を中心に、「武家のシンボル（第1展示室）」では、甲冑・刀剣ほかの武具を展示する。また、「大名の数寄（第2展示室）」では、茶碗・茶入ほかの茶の湯関連品、「大名の室礼（第3展示室）」では、香炉・掛軸ほかの書院飾り関連品、「武家の式楽（第4展示室）」では、能面・能装束ほかの能狂言関連品を、各々名古屋城二之丸御殿の茶室・書院・能舞台を復元した展示室で展示する。「大名の雅び（第5展示室）」では、婚礼調度をはじめとする「奥道具」を紹介する。これらの展示室では、年度内に4回（4, 7, 9, 1月）大展示替えを実施し、約1か月ごとに部分展示替えを実施する。なお、これまで「国宝 源氏物語絵巻（複製）」の展示およびビデオによる同絵巻の解説を行ってきた旧第6展示室は、リニューアル工事を実施して新たに「情報ラウンジ」とし、来館者が休息をとりつつ、「国宝 源氏物語絵巻」を含む所蔵品や展覧会・催事などについての解説や情報を得られるスペースとした。またこれに伴い、本館第7～第9展示室の名称も「本館展示室」に変更した。

② 特別展（本館展示室）

ア 徳川美術館 開館90周年記念 特別展「国宝 初音の調度」

4月12日～6月8日

中日新聞社・日本経済新聞社・NHK名古屋放送局共催

国宝「初音の調度」は徳川美術館の収蔵品の中でも一際、輝きを放つ不朽の名品である。日本美術の伝統的な蒔絵作品として最高峰に位置づけられる、精緻で豪華な大名婚礼調度、国宝「初音の調度」計70件を全点一挙に公開する。

イ 徳川美術館・蓬左文庫 開館90周年記念 夏季特別展「時をかける名刀」

6月14日～9月7日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会主催、中日新聞社・日本経済新聞社共催

徳川美術館の所蔵刀剣・刀装を軸として、他の所蔵先からの借用作品を含め歴史に名を馳せた武将や大名ら由縁の品々を一堂に展示し、歴史的背景の面白さと、作品そのものの美しさの両側面から、刀剣の奥深い魅力を紹介する。

ウ 徳川美術館・蓬左文庫 開館90周年記念 秋季特別展「尾張徳川家 名品のすべて」

9月13日～11月9日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会主催、中日新聞社共催・NHK名古屋放送局共催

蓬左文庫展示室も併せ、重要文化財を含む所蔵品の名品と、昭和から令和に至る90年の歩みを物語る関連資料を通して、徳川美術館と蓬左文庫の所蔵名品の全貌を紹介す

る。

エ 徳川美術館 開館 90 周年記念 特別展「国宝 源氏物語絵巻」

11 月 15 日～12 月 7 日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会主催、中日新聞社・日本経済新聞社・NHK 名古屋放送局共催

開館 90 周年記念として、当館所蔵の国宝「源氏物語絵巻」十五巻に加え、五島美術館所蔵の絵・四面と詞・九面を併せ、現存する全点を 10 年ぶりに名古屋の地で一堂に公開する。

オ 特別展「尾張徳川家の雛まつり」

2 月 7 日～4 月 5 日 中日新聞社共催

御三家筆頭の格式と豪華さを具現する尾張徳川家の雛人形・雛道具の展示を、名古屋に春の訪れを告げる例年の定番展覧会として実施する。

③ 企画展（名古屋市蓬左文庫展示室）

ア 企画展「千代姫の華麗なる生涯」

4 月 12 日～6 月 8 日（上掲②アの期間に開催）

中日新聞社・日本経済新聞社・NHK 名古屋放送局共催

将軍家との橋渡し役となり、尾張徳川家の繁栄の基礎を築いた千代姫の生涯を振り返る。

イ 徳川美術館・蓬左文庫 開館 90 周年記念 夏季特別展「時をかける名刀」

6 月 14 日～9 月 7 日（上掲②イ、と同一）

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会主催、中日新聞社・日本経済新聞社共催

ウ 徳川美術館・蓬左文庫 開館 90 周年記念 秋季特別展「尾張徳川家 名品のすべて」

9 月 13 日～11 月 9 日（上掲②ウ、と同一）

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会主催、中日新聞社・NHK 名古屋放送局共催

エ 企画展 徳川林政史研究所連携企画 「尾張家臣団」

11 月 15 日～12 月 14 日（上掲②エと同時期に開催）

徳川林政史研究所共催

尾張徳川家をささえた家臣たちにスポットを当てて、彼らにまつわる歴史資料をもとにその実像に迫る。

オ 企画展「日本の神々 降臨」

1 月 4 日～2 月 1 日 毎日新聞社共催

神の鎮座地や祀る人々、そしてさまざまな祭りに注目し、日本人と神との関係をひもとく。

カ 企画展 金沢文庫・蓬左文庫交流展「金沢文庫本一流離(さすら)う本の物語—」

2 月 7 日～4 月 5 日（上掲②オの期間に開催）

神奈川県立金沢文庫共催

中世から続く武家文庫として著名な“金沢文庫本”を所蔵する金沢文庫と名古屋市蓬左文庫の二館が連携し、関連性と蔵書を守り伝えてきたあゆみを紹介する。

④ 特別公開

「千利休 泪の茶杓」を2月21日～3月1日の間、第2展示室で特別公開。

⑤ 館外展示

岐阜県博物館プレ50周年記念・特別展「尾張徳川家ゆかりの美濃刀」を岐阜県博物館で10月10日から12月7日まで実施。

⑥ 特別観覧

ア 大学・研究機関等の研究目的による特別観覧に一定の条件下で応じる。

イ 「徳川茶会」を10月12・13・18・19・25・26・11月1・2・3日（計9日間）に開催予定。併せて一部収蔵品についての特別観覧を実施。

(2) 修理・保存、収集

国宝 初音蒔絵調度のうち、祝の枕について、国庫補助金「国宝重要文化財等保存整備費補助金」（国庫補助事業）による修理を行う。「黒漆楼閣人物図螺鈿方形印籠・盆」については三菱財団文化財修復事業の助成による修理を予定。作品収集については寄贈の申し出があれば検討。

2. 調査・研究

(1) 学芸部における調査・研究

以下の各項目についての調査・研究を継続する。

①館蔵品調査、②尾張徳川家御道具帳のデータベース化、③尾張徳川家関係寺社蔵品調査、④幕末明治浮世絵の研究、⑤尾張藩御用絵師の研究、⑥大名家における絵師の絵画活動についての研究、⑦尾張における画家の活動について－田中訥言を中心に－、⑧武家女性の生活史の研究、⑨尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について、⑩尾張徳川家に関連する仏教絵画の研究、⑪近世大名文化における刀剣の受容史的研究、⑫尾張徳川家伝来の古筆に関する研究、⑬刀剣の造形的特質に関する研究、⑭唐絵の受容史的研究、⑮茶道史の研究、⑯尾張徳川家に関する古典籍および古文書の研究、⑰刀装具に関する研究、⑱岩佐派の研究、⑲尾張徳川家における演能の研究

(2) 徳川林政史研究所との連携研究（継続）

尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究、尾張徳川家関連史料に関する基礎調査・研究、その他、展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進を図る。

(3) 所蔵品データベースの構築および研究用図書類の整備（継続）

(4) 研究成果の公開・公刊等

① 定期研究発表会 6月（第86回）および令和8年2月（第87回）を予定。

② 特別展図録等の作成・頒布

以下の展覧会に伴う図録の作成を予定。

- ・館外展 岐阜県博物館プレ50周年記念特別展「尾張徳川家ゆかりの美濃刀」
- ・特別展「国宝 初音の調度」、夏季特別展「時をかける名刀」、秋季特別展「尾張徳川家 名品のすべて」、特別展「国宝 源氏物語絵巻」、企画展「尾張家臣団」、企画展「金沢文庫本一流離う

本の物語」(尾張家臣団展については徳川林政史研究所、金沢文庫本展については金沢文庫がそれぞれ作成を予定)

③ 金鯢叢書第 53 輯(「研究紀要」第 60 号)の編集・刊行

④ 美術館だより「葵」第 134 号～137 号の作成・配布(web 公開)を予定。

(5) 大名道具収蔵館研究会

当館を幹事館の一つとして研究会を実施予定。

3. 教育・普及

(1) 記念講演会

特別展「国宝 初音の調度」、特別展「国宝 源氏物語絵巻」、企画展「金沢文庫本」各展覧会中に各一回開催予定。

(2) 体験講座

令和 7 年度は実施せず、令和 8 年度以降オリジナル香り袋づくり講座を開催予定。

(3) 土曜講座 以下のテーマとスケジュールで計 9 回開催予定。

①「将軍姫君・千代姫の生涯」(4 月)、②「蒔絵師・幸阿弥家と初音の調度」(5 月)、③「名刀を輝かせるエピソード」(8 月)、④「道具帳から辿る道」(9 月)、⑤「蓬左文庫 名品のすべて?!」(9 月)、⑥「尾張家伝来 江戸絵画の華」(10 月)、⑦「徳川義直と日本の神々」(1 月)、⑧「能を識る」(2 月)、⑨「徳川美術館の九十年」(3 月)

(4) 徳川林政史研究所による江戸学講座「家臣団」

12 月から 2 月の間に計 4 回、土曜日午後、研究所員を講師として実施予定。

なお例年実施してきた「古文書講座」は、令和 7 年度は実施せず令和 8 年度からの再開を予定。

(5) 博物館実習 9 月から 1 月の間に、5 日間実施予定。

(6) ボランティア向け展示説明会

(7) 学芸員の見どころトーク

令和 7 年度は実施せず、令和 8 年度以降の特別展・企画展において学芸員が見どころを紹介予定。

(8) 組香体験(個人向け) 年度内に 2 回程度実施予定。

(9) 夏休み子ども特別企画 夏休み期間中例年実施してきた「夏休み子供教室」は、7 月末～9 月初の期間中、特別展に伴うイベント実施を予定するため、令和 7 年度は実施せず、子供向けの展覧会ガイドブックを作成し、来館する児童に配布する予定。

(10) 中学校・高校・大学の生徒・学生の職場体験受け入れ(インターンシップ)(1～3 月)

(11) 展覧会ごとに展示作品リスト及び背景解説等のパネルを作成し、ホームページ上にも展覧会・作品解説を掲載。また展覧会ごとに英文ハンドアウトを適宜作成(QR コード経由の WEB 版を含む)。

(12) 小学校・中学校・高校・大学の生徒・学生向け体験を含めた来館プログラム
状況に応じ随時受け入れ。

(13) 古美術相談会

年間を通じ、随時対応。

(14) 見学会

11 月頃に実施予定。

(15) 出講・受嘱

依頼に応じ大学・文化センター等への講師や外部組織の職務に職員が出講または職務を受嘱予定。

(16) 協賛事業

① 第 104 回名古屋市文化史教室を名古屋市と共同実施（上掲（9）のガイドブック作成）。

② 愛知県内の博物館・資料館などをめぐるひなまつりスタンプラリーを実施。

4. 会員制度および大学メンバーシップ制度

(1) 徳川美術館メンバーシップ

① 個人会員「パートナー会員」「ゴールド会員」「プラチナ会員」、および法人会員「A 会員」「B 会員」「S 会員」各会員の入会者増加を図る。

② 「徳川美術館メンバーシップの日」を年度内に開催予定。

(2) 大学メンバーシップ制度

対象大学(学校)法人（令和 7 年 2 月現在 35 校参加）の学生（一部教職員を含む）への観覧料優待、および対象大学法人への展覧会ポスター・チラシ、イベント案内等の配布・掲示を実施。

[公益事業 2] 研究所の調査・研究・普及事業（徳川林政史研究所）

1. 調査・研究

(1) 研究所における研究

- ① 名古屋城の構造と儀礼に関する研究
- ② 近世・近代の尾張徳川家に関する研究
- ③ 徳川林政史研究所の活動に関する史学史的研究
- ④ 近世の地域社会と森林利用に関する研究
- ⑤ 近世山村における生活文化に関する研究
- ⑥ 関東平野における沼の資源利用に関する研究
- ⑦ 近世山村における新開事業に関する研究

(2) 徳川美術館との連携における研究等

- ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ② 尾張徳川家関連資料に関する調査・研究
- ③ 尾張徳川家家臣団に関する調査・研究
- ④ 美術館の展覧会事業への協力・史料出品
- ⑤ 美術館の教育普及事業への協力および研究交流の促進

(3) 研究成果の公開・公刊

- ① 課題研究に関する中間報告を兼ねた研究会の開催
- ② 『金鯪叢書』第 53 輯（『研究紀要』第 60 号）の編集・刊行
- ③ 所蔵史料の編集・刊行（『史料纂集 儀物軌式』（八木書店））
- ④ 史料調査の成果公開（ブックレット・翻刻史料集の刊行）

(4) 「尾張徳川史」編纂準備（尾張徳川家編年データベースの整備、史料翻刻）

(5) 尾張徳川家関連資料の調査・研究

(6) 史料調査

① 林政史アーカイブズ調査

- ア. 岐阜県中津川市加子母地域
- イ. 名古屋市市政資料館
- ウ. 岐阜県可児市木曾古文書館

② 研究資料（複写・写真撮影資料を含む）の調査・収集

- ア. 犬山城白帝文庫
- イ. 犬山市文化史料館
- ウ. 名古屋市博物館
- エ. 名古屋城調査研究センター
- オ. 八雲産業株式会社八雲事業所

③ 収集史料データおよび史料所在情報の整理・公開作業

(7) 調査・研究における他機関との連携・協力

名古屋市蓬左文庫、名古屋城調査研究センター、犬山城白帝文庫、名古屋市博物館、徳川記念財団他、国立公文書館・国文学研究資料館他の資料保存機関、大学・学会と連携・協力し調査・研究を実施する。

2. 史料・図書の整理

(1) 所蔵史料の整理

① 史料整理及び目録作成

尾張徳川家文書、徳川林政史研究所収集史料、山村・千村・竹腰文書、殿村文書Ⅱ 他

(2) 所蔵史料の目録刊行（『金鯢叢書』第53輯〔『研究紀要』第60号〕に掲載）

① 石河家文書目録(17)

② その他

(3) 所蔵史料データベースの構築および保存

① 所蔵史料データベースの構築

尾張徳川家文書、石河家文書、尾張国各郡史料、蟹江鈴木家文書、他

② 目録データベースの検索・活用方法ならびに公開作業（ホームページでの検索システム構築）

(4) 史料のデジタルデータ化

所蔵古写真、所蔵史料、調査収集史料写真のデジタルデータ化の促進

(5) 史料の購入・補修（活動支援基金）

(6) 書庫内の整理ほか保存環境の保全

(7) 研究用図書の購入、整理

(8) リポジトリ掲載雑誌検索作業および当該雑誌の除籍作業

3. 教育・普及

(1) 講座・講演

① 「徳川林政史研究所公開講座」（豊島区、2回）

② 徳川美術館「徳川林政史研究所 江戸学講座」（全4回）

③ 史料調査と関連付けた講座・講演（中津川市加子母、1回）

(2) 展覧会

① 徳川美術館と連携した企画展「尾張家臣団」の開催

② 上記企画展に係る図録の編集・刊行

(3) ホームページによる情報発信

① ホームページを活用した尾張藩政史・幕政史・林政史の研究成果の普及

② ホームページを利用した情報発信の促進

(4) 出講・受嘱

① 出講

大東文化大学、学習院大学、学習院女子大学に出講を予定

② 受嘱

外部機関からの依頼にもとづき、必要がある場合は研究員を派遣

4. 若手研究者の育成

非常勤研究員・研究生による①研究会の開催、②史料整理・目録作成作業、③徳川美術館・名古屋市蓬左文庫の見学研修、④その他、史料調査・研究・普及活動、などへの参加を通じ、若

手研究者の育成に努める。

5. 閲覧・出陳・レファレンス業務

(1) 史料閲覧

閲覧許可日：毎週火曜日・水曜日

(2) 史料出陳

(3) 所蔵史料写真の貸し出しおよび複写サービス

(4) レファレンスへの対応

6. 事業評価委員会の実施

3月に予定

Ⅱ. 収益事業

[収益事業 1] 不動産賃貸事業（本部・総務部）

外国人向け住宅の賃貸事業（全 6 棟）を継続する。

[収益事業 2] ミュージアムショップ、施設貸出利用、宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

1. ミュージアムショップの運営

売上・収益の向上に向け、売店・オンラインショップの環境整備、オリジナル商品の拡充と有名企業とのコラボ商品開発、SNS を活用した商品告知、小売・通信販売事業者等と連携したイベント、他館での委託販売、等を実施。またこれらに沿って販売強化及び人材育成を図る。

2. 施設貸出利用

申請に応じ、随時外部団体・法人等への講堂・茶室等美術館施設の貸出業務を行う。

3. 宝善亭・THE MUSEUM CAFE の利用促進

従来のコーヒーラウンジは令和 6 年度にリニューアルし、THE MUSEUM CAFE として来館者の利用に供している。更に新メニューの開発や業務委託先との連携も強化しつつ、収益向上を図る。

Ⅲ. 管理業務

[本部・総務部]

法人の円滑な事業推進、運営管理のため、徳川美術館、徳川林政史研究所の各事業部門・管理部門の業務を支援し、ガバナンスやコンプライアンスといった視点も含め、全体としての調整・統括を行う。

[徳川美術館]

1. 展覧会関連イベント等の企画・運営

- (1) 徳川ナイトミュージアム・プレミアムを 90 周年記念特別展期間中に開催予定。
- (2) 徳川ナイトミュージアム（夜間開館・解説等なし）を夏季を中心に積極的に開催予定。
- (3) 旅行会社・団体・法人等の需要に応じ、適時に夜間貸切開館を実施予定。
- (4) 開館 90 周年記念式典を 11 月に予定。

2. 広報

文化庁コーチング指導により作成したファクトシートを活用した広報戦略を実際に適用するとともに、外部専門業者等と実施してきた WEB 解析やアンケート等来館者調査の分析結果などをふまえた積極的な広報を計画し、実施する。また、展覧会や教育普及プログラムと連携しつつ、リニューアルしたホームページを活用した新たな広報を行うほか、SNS・WEB 施策等の新しい広報手段も活用し、メディアの特性も生かした効果的な広報活動を推進する。また幅広い顧客層に向けての企画を検討し、収益性イベントについても訴求を強化する。

3. 営業

国内旅客誘致、インバウンド対応、MICE 誘致等に関連した営業活動を強化する。

(1) 団体・個人向け旅客誘致や、観光需要獲得の為の活動

- ① (一社)愛知観光協会、(公財)名古屋観光コンベンションビューロー主催の営業セールス、オンライン商談会等への参加
- ② WEB 上での情報発信や、魅力を伝えるコンテンツの強化（オンラインチケット購入者へのメルマガ配信、YouTube 動画配信など）
- ③ 市内宿泊施設、鉄道会社、タクシー会社等との相互連携による名古屋への集客企画、旅ナカ（旅の途中での観光）需要への積極的対応。
- ④ 教育普及と連動した体験講座・解説付き見学プランや閉館後の夜間貸切など、付加価値あるプランの提案による誘致の拡充。
- ⑤ 地域内の他施設（名古屋港水族館など）と連携・調整した訪問営業活動の実施。

(2) 法人営業

- ① MICE 招致を推進する機関と連携し、法人・宿泊施設等向けの営業活動を推進。
- ② 年間スケジュールや、集客が見込める展覧会の法人向け情報発信を継続。

4. ボランティアの会運営

以下の活動を行う。

- (1) 新規正解説員の育成・採用。
- (2) 新規準解説員の育成・採用。
- (3) 第 14 期生の採用（予定）。
- (4) 展示解説の標準化（マニュアルの改訂と解説・画像ソフトの開発）の推進。
- (5) 能力（スキル）向上のための研修会および見学会の実施。
- (6) ボランティア懇親会の開催。

5. 外部組織との連携

- (1) 徳川美術館運営懇話会（第 32 回）を秋頃を目途に開催予定。
- (2) 徳川園各施設との連携

月度連絡会議、徳川園調整会議（1 月下旬）等で連携しつつ、完成予定の共通 WEB サイトにて利便性の向上を図る。また各施設と連携しつつ、名古屋市の歴史文化基本構想を活かした観光推進事業に参加、協力する。

6. 他の美術館・博物館との連携

大名道具収蔵館研究会、私立美術館会議、(公財)日本博物館協会・(一社)全国美術館会議・愛知県博物館協会等と連携。

7. 来館者対応

優れた人材の確保・育成により顧客対応力を向上させ来館者満足度を一層高めることで、来館者数の増加に務める。また来館者ニーズの把握・分析のためのアンケート調査を年度を通じて実施。

8. 観覧料金

- (1) 入館料

一般 1,600 円・高大生 800 円・小中生 500 円を維持。

- (2) 前売券（オンラインチケット）販売期間の改定

展覧会初日の約 1 か月前に前売券を発売（価格：一般 200 円引、その他 100 円引）。

展覧会初日から最終日までの期間は、オンラインチケットの価格は定価販売とする（予定）。

- (3) 前売ペアチケット販売

夏季特別展「時をかける名刀」、秋季特別展「尾張徳川家 名品のすべて」、特別展「尾張徳川家の雛まつり」の各展覧会を対象として、2,700 円（一般 2 名分）のペアチケットを販売する。（但し、前売りのみとし展覧会初日以降は販売しない。）

9. 施設管理・営繕

設備の老朽化による不具合等への対応をはじめ、中長期計画に基づいた施設・設備の修繕および更新を適切に実施し、また美術館業務や来館者利便性向上に必要なシステム・機器の整備、環境を構築する。

10. 運営資金管理

- (1) 活動支援基金に係る管理事務を遂行。また寄附の受け入れ拡充のための各種方策を検討。
- (2) 補助金管理について、新規、継続含む国庫補助金に係る交付申請および管理事務、民間補助金に係る交付申請および管理事務を遂行。その他の文化庁補助事業等への申請を検討。

〔徳川林政史研究所〕

以下の各項目を実施。

1. 補助金

- (1) 国庫補助金(特定奨励費およびその他の科学研究費)に係る交付申請および管理事務。
- (2) 民間助成金(上廣倫理財団助成金、他)に係る交付申請および管理事務。

2. 活動支援基金

- (1) 活動支援基金に係る管理事務。
(〔公益事業2〕研究所の調査研究普及事業(徳川林政史研究所)2.(5)に記載)

3. 設備管理

- (1) 小荷物専用昇降機などの附帯設備の修理補修等